

# てん末書

記録者職氏名

企画財政課

調整係

主任

竹 中 寿

## 1 日 時

平成29年9月7日(木) 13時30分 ～ 16時00分

## 2 会 場

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

## 3 会議及び用務

第2回 行政改革推進委員会

## 4 出席者

各委員：北村会長、高桑職務代理者、佐藤、野田、高橋、小林、松浦、森、菊地  
宮澤各委員

町：山田総務課長、松田住民税務課長、山本まちづくり推進課長、黒岩水道課長  
江田保健福祉課長、絹張商工観光課長、佐藤教育総務課長  
阿部企画財政課長、斉藤係長、竹中主任

## 5 結果要旨

### 1. 開 会（阿部企画財政課長）

### 2. 会議成立確認（阿部企画財政課長）

委員10名出席、過半数を超えているため会議成立

### 3. 会長あいさつ

（北村会長）皆さんこんにちは。委員皆さんから出されました20本の事業の評価について行ってきたいので、ご協力をお願いしたい。

### 4. 確認事項

#### （1）会議録の確認について

修正等はなし

### 5. 協議事項

#### （1）行政評価の実施について

～行政評価の実施について評価の進め方など事務局より説明～

#### 【No.1 簡易水道統合事業】

～外部評価シートについて水道課長より説明～

〈説明要点〉

## 2 (てん末書用紙)

- ・道路の地割れは、凍上が原因
- ・古い水道管の埋設深度は120cm、現在は、150cm
- ・本町の凍結深度は、80～90cm、凍結が原因で水漏れが起こることは考えにくい
- ・現在の水道管は35年程度が経過しており老朽化が著しく漏水事故が起こる危険性
- ・補助事業等を活用し水道管の入れ替えを検討

～事務事業評価調書について事務局より説明

### ○ 外部評価は「2」と判定

#### 【No.2 定住促進住宅建設・中古住宅購入補助事業】

～外部評価シートについて企画財政課長より説明～

〈説明要点〉

- ・定住促進を図る観点から分譲宅地の造成と持家施策を実施
- ・現在の補助事業は、平成27年度から平成31年度までの時限措置
- ・平成26年度に錦町リラ団地の分譲を開始、現在3区画の残
- ・開盛地区の分譲は、遠軽町からの転入者も期待
- ・現在の所は、現状の補助制度で運用
- ・現在の補助事業が終了した平成32年度以降は、それまでの5ヶ年間を検証し、あるべき方向性を見定めていく考え

(小林委員) 平成32年度以降は、再度、検討するということでしょうか。

(阿部企画財政課長) まず、それまでの5ヶ年の検証を行い、その結果について、新たな政策での取組になると考えます。

(小林委員) 現在の制度は、平成31年度までの時限措置なので、途中での変更は難しいということでしょうか。

(阿部企画財政課長) その通りです。

～事務事業評価調書について事務局より説明

(森委員) 新築住宅建設の場合の町内業者の利用実績を教えてください。

(阿部企画財政課長) 初年度の平成27年度は、31件の実績があり、新築が22件、中古住宅が9件、新築住宅の町外業者利用が12件、町内業者利用が10件、平成28年度は全体で19件、その内、新築住宅が13件、中古住宅が6件、新築住宅の町外業者利用が11件、町内業者利用が2件であります。補助金ベースでは、平成27年度が24,000千円、平成28年度が25,000千円です。平成29年度は、中間ではありますが、申請が7件で、町外業者利用が4件、町内業者利用が3件となっております。

(森委員) 地域振興のためには、町内業者を利用することが大事ですが、近年、町外業者を利用する方が多いと見ていて、町内業者も年々事業規模が縮小されているように思

います。今後の制度設計では、町外業者を利用した場合も町内業者との差を付けるべきなのか検討する必要があると思います。

(阿部企画財政課長) 今のご意見についても検討していかなくてはならないと思います。

(佐藤委員) 他の町でも定住促進事業を実施していると思いますし、評価調書にも書いていますが、ある意味、他の町の教訓になると思います。仮に、平成32年度以降事業を行うのであれば、その部分も加味してよりよい施策を考えてもらいたいと思います。

(阿部企画財政課長) 全ての市町村が、事業を行っているわけではありません。本町は、補助金額ベースで道内でも高い水準にあると思います。定住促進でも色々な考え方があると思いますので、その部分を踏まえて、今後の政策に取り組んでいきたいと考えています。

## ○ 外部評価は「2」と判定

### 【No.3 開盛地区宅地分譲事業】

～外部評価シートについて企画財政課長より説明～

〈説明要点〉

- ・ 目的は、移住・定住の促進、遊休町有地の有効活用
- ・ 工事は、造成工事、道路工事、水道管敷設工事を実施
- ・ 期間は、本年7月27日から12月30日まで、9月から着工
- ・ 開盛第2パークタウンは、14区画を平成30年1月から販売を開始
- ・ 坪価格は、10,000円を下回る見通し
- ・ 10年間程度で完売を見込、遠軽町に隣接、転入者を期待
- ・ 町ホームページにより「住まいの情報バンク」を開設し情報提供
- ・ 今後、町内の空き家を把握し、対策計画の策定など、対策に向けた基礎資料も出来るので活用方法を検討

(小林委員) 分譲が始まり、購入したいと考えている人はどれくらいいるか。

(阿部企画財政課長) 具体的な問い合わせはありません。

(小林委員) 町民ニーズが無いと思われる場所に、宅地を造成して完売できるのかを危惧しているところです。併せて、定住促進の補助事業が無ければ中々難しいという感じがしています。定住促進と分譲宅地販売と抱き合わせをした形で思い切った取組が必要ではないでしょうか。

(阿部企画財政課長) 来年1月から販売開始をしますので、現在の補助事業を2年間程度利用することが可能です。遠軽町からの転入者も期待していると説明しましたが、実際に遠軽町の土地価格より安価な値段で購入することが可能になることから期待をしているものです。制度上で言えば、住宅建設に係る部分についても何らかの政策は打ち出していないとしないと考えます。また、町内全域で、完売していない分譲宅地がありますのでそちらも併せて早期完売できるように対策を講じていく考えで

#### 4 (てん末書用紙)

す。

(森委員) 開盛地区は、遠軽町に隣接していますが、便利な場所だとは思っていません。遠軽町から移住を見込む場合、遠軽町の住宅、土地事情等は把握しているのでしょうか。

(阿部企画財政課長) そこまで具体的な調査はしていないのが現状です。ただし、分譲に当たり不動産関係から話を聞いていますし、遠軽町における分譲の実態を話として伺っていますが、改めて具体的に調査等は行っておりません。

(森委員) 不動産からの情報で遠軽町からの需要はあるという情報だったのでしょうか。

(阿部企画財政課長) そういう情報はありません。開盛地区にも不動産の売買事例等が数件あり、それを持って把握しています。

(宮澤委員) 開盛小学校も子どもが少なくなっていますが、遠軽町から土地が安価であるからと湧別町に引っ越しをしようかという若い人たちが、子どもを学校に入れる時に魅力的なところがあるかどうか、よく不動産の広告で近くに買い物をするところがあるなどということがあり、大事なことだと思いますが、遠軽の端と開盛と、住んでいてどちらが魅力的かと考えた時に、子育てや教育に対しての支援など、付加価値として遠軽町よりも魅力的であるというものが無い限りは、安価であるからと購入することにはならないと思います。開盛パークタウンの時は、需要があったと思いますが、現状を考えた時に今回の分譲については、どうなのかと思います。

(阿部企画財政課長) 保育所は休止状態、小学校も人数が年々減少していて、お店も撤退しましたが、この場所に魅力があるのかということだと思います。ですが、だからこそ、分譲をして地域を盛り上げる。人を呼び込むという地域の思いもあります。福祉や教育に関して遠軽町よりも勝る政策があれば、湧別町に移住するという選択肢に入ってくるのかなと思いますし、期待をしているところです。更に今回は、これまで販売する際、町内を優先しておりましたが、町内外問わず同時に販売を開始することとしております。

(北村会長) お願いしておきたいことが1点あります。町内の業者若しくは自治会の方に「子どもが大きくなったので部屋を与えたいが中々無い」という情報もありますので、見てわかる様な形で情報提供をお願いしたいと思います。

～事務事業評価調書について事務局より説明

### ○ 外部評価は、「8」と判定

#### 【No.4 一般廃棄物収集事業】

～外部評価シートについて住民税務課長より説明～

〈説明要点〉

- ・一般廃棄物収集業務は、湧別小型・湧別運輸共同企業体で実施
- ・委託金額は41,040千円
- ・現在、湧別処分場は焼却灰のみ搬入、湧別、上湧別共に今後10年使用予定で、以降は、広域で整備

- ・上湧別廃棄物処分場水処理施設管理業務、厳しい水質管理を実施しており、閉鎖後も10年間程度は必要
- ・リサイクルセンターは、広域組合で実施

(高橋委員) 屯田市街地では、ゴミステーションを設置している拠点回収と、路上にごみを置いて各家の前での収集する個別収集が実態となっていますが、他の地区はどのようなになっているのでしょうか。

(松田住民税務課長) 上湧別地区と中湧別地区の国道と、湧別市街地は同様の収集方法となっていて、共同でステーション等を設置してごみを排出して欲しい旨、自治会にお願いしているところですが、様々な問題や課題があり解決しておりません。

(高橋委員) カレンダーに載っている収集日について、連休やお盆、年末年始等、収集日が休みになると大幅に間隔が空いてしまうのでごみの排出に苦慮しているのを改善できないのでしょうか。

(松田住民税務課長) 今年のお盆時期については、自治会より要望があり、対応しております。今後も最善の努力をしていきたいと思っております。

～事務事業評価調書について事務局より説明

## ○ 外部評価は、「3」と判定

### 【No.5 町営バス運行事業】

～外部評価シートについてまちづくり推進課長より説明～

〈説明要点〉

- ・昭和45年東芭露線が運行して現在まで8路線を運行
- ・バスの利用者は年々減少、予約制等を導入し合理化を図っている
- ・しかし、通学、通院があるために町営バスは必要不可欠な手法
- ・年間利用者は約40,000人程度
- ・バスの運行は、湧別小型・中湧別ハイヤー・湧別ハイヤー共同企業体に委託しており金額は71,000千円
- ・それぞれの路線でそれぞれの課題がある。その時々に合わせて方策を検討

(佐藤委員) 8路線で何台のバスを所有しているのでしょうか。

(山本まちづくり推進課長) 7台のバスで運行していて、予備車が1台あるので計8台を所有しています。

(佐藤委員) 予約制の場合、予約がなければ当然運行しないということでしょうか。

(山本まちづくり推進課長) その通りです。

(佐藤委員) 更新時に現在の状況を鑑みて乗車人数を勘案して購入しているのでしょうか。

(山本まちづくり推進課長) 利用実態に併せて小型化をしていきますが、全てを利用実態

## 6 (てん末書用紙)

に併せて小さくということには学校行事の関係等で中々ならないのが現状です。

～事務事業評価調書について事務局より説明

(佐藤委員) 外部評価シートの別紙、課題と方策で現状維持ではなく改善ではないかと思いますがいかがでしょうか。

(小林委員) 予約制を導入しているということですが、予約制でバスではなくハイヤーにしてはどうでしょうか。経費節減にも繋がると思います。

(山本まちづくり推進課長) 町営バス事業の中での運行となっております。

### ○外部評価は、「2」と判定

#### 【No.6 オホーツク紋別空港利用促進事業】

～外部評価シートについて企画財政課長より説明～

〈説明要点〉

- ・飛行機のジェット化、搭乗率の確保を目的に補助事業を実施
- ・東京への通年運行を図るため、平成25年から遠紋地域市町村で旅行補助を再スタート
- ・当初、平成27年までの3カ年であったが、搭乗率への効果が大きかったことから現在も補助を継続
- ・平成28年の搭乗者数は、72,225人、搭乗率60.68%、湧別町の利用者は1,360人、搭乗率は1.89%で補助金額に換算すると6,800千円
- ・補助の効果は出ていると考えており、今後も何らかの形で支援していく

(宮澤委員) 搭乗率は60.68%で今後も継続されるのでしょうか。また、千歳線等他の便の就航を目指してはどうでしょうか。また、他市町村の利用実態はどの様になっているのでしょうか。

(阿部企画財政課長) 期成会があり、毎年ANAに通年運行について要請しており、復便の関係は、滑走路、機材等の問題で中々難しい現状となっております。昨年度の実績ですが、紋別市8,146席、佐呂間町1,199席、遠軽町1,935席、興部町858席、滝上町568席、雄武町1,806席、西興部村424席となっております。

～事務事業評価調書について事務局より説明

### ○外部評価は、「2」と判定

#### 【No.7 商工振興事業】

～外部評価シートについて商工観光課長より説明～

〈説明要点〉

- ・ 商工振興事業は、商工会の運営に対する助成と商工業者に直接的に融資を行う制度がある
- ・ 商工会の運営費に係る部分では更に3つに分かれ、職員の人件費の助成、小規模事業者への指導業務の費用、地域振興に係る費用への助成がある。
- ・ 地域振興の中で、プレミアム商品券の販売
- ・ 平成27年に行ったアンケートをもとに検討、平成29年愛町購買事業を実施
- ・ プレミアム率も20%から30%に増加、町外の方も利用可
- ・ 今後も発展していくように検討を続ける。
- ・ また、保健事業とチューリップスタンプとのコラボ事業も実施
- ・ 今後も商工会と協議を重ね進めていく。

(野田委員) これまでのプレミアム商品券は、大半がお金に余裕のある一部の方が購入している傾向にあり、一般の方には中々まわっていなかったのが実態でありましたが、新たな方法にして、まだ途中経過ですが、予算の15,000千円まで執行されないかなと思っています。補助券を持つてはいるが、商品券を買いに行っていないというのが実態です。また、商店によっては、補助券の扱いが若干違っていたという話も聞いています。色々と反省点はたくさんあるので、再考する必要があるのかなと思います。非常に難しい事業だなという印象を受けています。

(高桑職務代理者) プレミアム商品券はひとつの手段であり、これからも色々なプランを商工団体と町で協議しながら良い方向に進んで行きたいと考えています。現状では、補助券を受け取ってもらっている段階で、商品券の販売は11月5日からとなっています。事業が終了した時点で、反省点もたくさん出てくると思うので、検証しながら継続して行きたいと考えています。

(絹張商工観光課長) 補助券は、完売することを前提に進んでおりますが、今年度は、初年度ということもあり、売れ残ることが考えられるので、当初、売れ残った場合、再販売をしないということで進んでおりましたが、初年度に限り、再販売を認めることにしております。ただし、プレミアム率の30%から、ある程度減額した形で対応することとしています。これまでのプレミアム商品券を購入される年代が、60歳以上の方が多く状況であり、若い世代の方に買ってもらうということでこの様な形としましたが、今後色々な変遷を経て行くと思いますし、必ず見直しをしていく考えであります。

～事務事業評価調書について事務局より説明

(菊地委員) 買う側として、もう少し広く浅く行った方が、不公平感はないのではないのでしょうか。

(高桑委員) プレミアム商品券を販売していた時から、不公平感があるなどの意見がありましたが、元々は、商店の売上を延ばすということを、目的にしている、町民の福祉を優先ということでありませんでしたので、ご理解をお願いします。

## ○外部評価は、「3」と判定

### 【No.8 ふるさと納税推進事業】

～外部評価シートについて総務課長より説明～

〈説明要点〉

- ・湧別町のまちづくりを応援してもらえる方々より寄付を募っており平成20年度からスタート
- ・実績は、平成27年度47件7,050千円、平成28年度43件4,200千円
- ・平成28年度までは返礼品は無く純粹に寄付を受けていた
- ・平成27年度の処分額は1,449,360円でチューリップ公園の移動式展望台の設置を行った。平成28年度の実績はなし
- ・平成29年3月31日現在までの残高は18,747,709円
- ・平成29年度の寄付額の返礼品の割合は、1万円～2万円30%、2万円～3万円35%、3万円以上が40%で、平成29年4月1日から地場産業の活性化、まちの知名度アップを図るため、町内事業者の協力のもと導入
- ・平成29年4月～8月までの実績は、208件4,410千円で、11月～12月に60%が集中する傾向にあり、今後を期待
- ・ふるさと納税のPRは、5月に千歳空港で食関連のイベント、6月に札幌市の札幌湧別会、その他、チューリップフェアのPRの場、東京都江東区の環境フェアでPRを実施。
- ・7月より友好都市の新篠津村と返礼品の連携を開始
- ・サイトの充実を図り返礼品の魅力発信に更に努める
- ・登録している事業者を適宜集めて情報共有を実施、返礼品コラボ、新商品の開発などの話が出ている。10月末を目途に返礼品のリニューアルを図る。
- ・今後、返礼品にとらわれないふるさと納税事業の検討が必要と考えている。

(佐藤委員) 登録している業者にはどの程度のメリットがあるのでしょうか。

(山田総務課長) 登録された業者については、サイトに登録されるため、商品だけではなく商店名のPRにもなっている部分もあると思います。今後、続けることにより更にメリットが大きくなるのかなと考えています。

(菊地委員) 返礼品が高額過ぎるという問題はどうなっているのでしょうか。

(山田総務課長) 湧別町は返礼品をスタートさせる時に、総務省から通知があった。今後の検討課題となっています

～事務事業評価調書について事務局より説明

## ○外部評価は、「3」と判定

(納税額がアップするように前向きな改善ということのコメントを記載)



※残りの外部評価は、次回に持ち越しとした。

(2) その他

なし

6. その他

(1) 次回の会議の日程について

○日時 平成29年10月2日(月) 13時30分～

○場所 上湧別コミュニティセンター2階会議室

7. 閉会

終了(16時10分)